

背景

インターネット環境の充実により・・・

- **低年齢層からのデジタル機器の利用、利用時間の増加。**
- **ネット依存が疑われる中高生**は、平成24年の52万人から平成29年には93万人へと**急増**。

他の依存症と異なり・・・

- **法律や年齢による規制がないため、低年齢層を中心とした全世代への対策が必要**

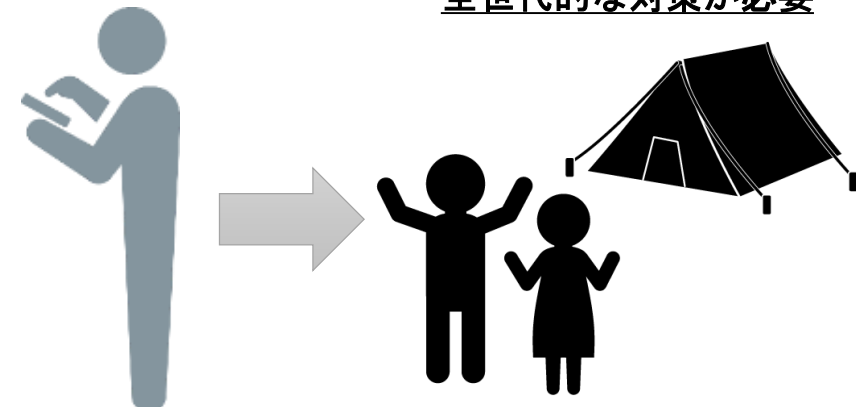
ゲームやインターネットへののめり込みにより・・・

- 不眠、昼夜逆転、運動不足等の**身体面への影響**、うつ傾向などの**メンタルヘルスの不調**、学業成績や仕事効率の低下、不登校等の**社会生活への影響**を来す可能性がある
- ゲームやインターネットの**適正利用についての情報発信**を行い、**ITリテラシーの向上**に努める
- 自然体験等活動等を通じ、**デジタルデバイス以外の興味を獲得**し、ストレスや不安への対処を学ぶ
- 有識者、民間支援団体及び庁内関係課による検討会の開催
- 県民のゲームやインターネット利用状況等に関する実態調査の実施

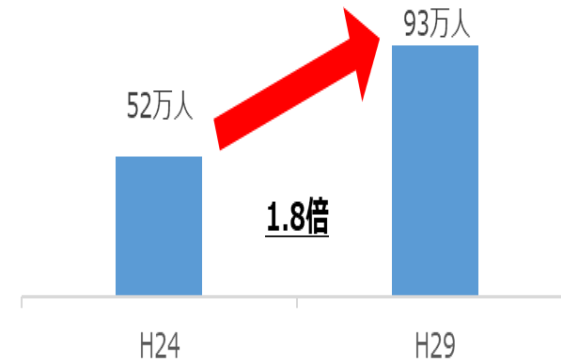
これまでの取組

事業内容

- **Web広告による情報発信**
 - ゲームやインターネットの適正利用及び依存症に関する正しい情報の発信
- **デジタルデトックスキャンプ**
 - 自然体験活動や専門家からの講義等で構成されるプログラム



ネット依存が疑われる中高生の数
(厚生労働科学研究報告書)



全世代的な対策が必要

得られる
成果等成果・目標

- ▶ ITリテラシーの向上
- ▶ デジタルデバイス以外への興味の獲得
- ⇒ **ゲーム・ネット依存の未然予防につなげ、若者の健全育成を図る**



野菜収穫



依存症に関する講義

寄附を
する
メリット
等企業に求めるもの等

- ▶ ITリテラシーの向上に向けたノウハウの提供
- ▶ デジタルデトックスプログラムの提案
- ▶ 新たなコンテンツ、ノウハウの提供

企業のメリット

- ▶ SDGs・社会貢献企業としてのPR効果
 - ▶ 本県との新たなパートナーシップの構築
 - ▶ 新たな課題解決に取り組む
- 企業としてのイメージアップ

企業との連携イメージ

- ▶ 小・中・高生向け授業への人材派遣
- ▶ デジタルデトックスプログラムの共同開発

連絡先

山梨県福祉保健部健康増進課心の健康担当
 担当：早川
 TEL：055-223-1495
 E-mail：kenko-zsn@pref.yamanashi.lg.jp